第二回「はまちゃこ」「やれかが」

みなさんこんにちわ 今回の方言講座 塩谷の皆さんにはおなじみのこちらの言葉です。今回も方言は「しおばあちゃん」が教えてくれます。



"はまちゃこ"は アリ地獄のこと、すなわちウスバカゲロウの幼虫のことをいいます。 塩谷の人の中では アリ地獄の巣を指でほじくりながら"はまちゃこ"の唄を口ずさむ ことがあります。

"はまちゃこ"の巣は、砂地の浜小屋の軒下やあまり雨の当たらないようなところで見ることができます。

(唄のコーナーで"はまちゃこ"の唄を紹介しています)

9/19.(水)、20(木)曜日に 伝統ある塩谷大祭が行われます。(詳細は塩谷神輿保存会のホームページをご覧ください)

"やれかが"は 9/19 の深夜、お祭りの開始を告げ各家を回る練り太鼓のことを指します。

「や一れかが おぎれ ず~やもばばもおぎれ おがまんまふがせ サツマイモも忘れんな」と大声で町中を練り歩きます。知人の家のところでは住人の名前を呼んで戸

を叩いたりします。

(奥さん 起きてください! おじいさんもおばあさんも起きてください! 赤飯をふかして(お祭りの準備をしてください) サツマイモも忘れないでね)とても 味わいのある風習です。

方言には色々なニュアンスが含まれていて とても温かみのある感じがします。

機会があったら塩谷のお年寄りと話してみてください。生きた塩谷弁が学べることでしょう。

なお、塩谷基地方言講座では 方言を教えていただける方からのご連絡をお待ちして おります。

連絡窓口 大正堂 66-5551 有線 66-4406 までお願いいたします。